

美術解剖学の本は色々ありますが、

*本を見ても十分に理解出来ない。

*本の解説と生身の人間とはぜんぜん違うけど、
何が違うのすらピンとこない。

*自由自在に人を描けるような理解には程遠い
自分に、落ち込む。

こんな声がほとんどです。

これではいくら良い本を買っても作品に役立つ知識に
は到達しませんが、実はほとんどの人がそうなのです。



美術解剖学モデルが教える

美術解剖学講座

大阪開講

一冊の美術解剖学書を、生身のモデルと照らし合せながら目の
前で確認して行く事です。本が何を言ってるのか、本当に生身
の人間はそうなっているのか、美術解剖学モデル海斗の解説を
聞きながら、時には自らの指でモデルを実際に触って確認して、
マスターして行くことです。

その向こう側には「ヒトの形の何をどう観たら良いのか」とい
う観る力を習得した自分がいることでしょう。

2019年は大阪で開催いたします。
第1回開催は6月15日
お気軽にお申込みください。

『美術解剖学モデルが教える美術解剖学・大阪』のご案内

年間プログラム予定

- 6月15日 第1回 **体幹と胴体**
- 7月20日 第2回 **手と腕**
- 8月17日 第3回 **背中と腕**
- 9月21日 第4回 **顔の構造と表情**
- 10月19日 第5回 **脚・足・お尻**
- 11月16日 第6回 **人種の差**
(黒人、白人、アジア人)
- 12月21日 第7回 **脂肪、そして人のカタチ**
- 1月18日 第8回 **人を描くワークショップ**
(総合的復習と実習スケッチ)
- 2月15日 第9回 **卒業クロッキー 100本**
(自由自在に人が描けるかけるスキル)
- 3月21日 第10回 **補講**
(出られなかった回、もう一度聞きたい回)

毎月第三土曜日 (変更あり)

開催時間：10時～17時

(昼休憩1時間を含む)

セッション風景



男女性差を解説



同性の間の個体差の解説



不明な部位は触って覚えます。



外国人モデルを採用し、人種差にも触れます。

本セッションの概要

- 毎回講義には性差による違いを必ず解説して行きます。
例えば肩なら肩で男女の肩の形態学的、器質的な違いをマスターできます。
- かなり深く学習します。毎回の講義前に課題図書で予習をしていただくのが望ましいです。
- 毎回のテーマによって女性モデルには理学療法士、ダンサー、などテーマに最適なモデルを起用します。

本講座教科書のご案内



アーティストのための美術解剖学

Valerie L. Winslow 著

宮永 美知代 翻訳・監修

(東京芸術大学 美術学部 芸術学科 助教)

オンライン購入はこちら

amazon <https://www.amazon.co.jp/dp/4837301800>

持参物

指定教科書・鉛筆・スケッチブック

ご留意頂きたい項目

- ① 当日は、会場での指定教科書・画材レンタルはありません。必ず指定教科書と画材を持参頂きますようお願い致します。
- ① 本プログラムは指定教科書を基に美術解剖学を学ぶ会です。ご参加される際は「必ず」教科書をご持参して頂くようお願い致します。(当日貸出はございません)

料金・定員のご案内

参加料金：1講義 **8,000** 円(税込)

教科書代：**3,240** 円(税込)

※本講座の教科書は基本的に各参加者様でご購入・ご準備ください。
事前準備ができない方は海斗の方で手配しますので、その旨申し込み時にご連絡ください。

定員：**20** 名(先着順受付、定員になり次第受付終了)

お問合せ・お申込み

kaito3021@gmail.com

※ご氏名、参加希望の日、参加区分(一般・学生)をお伝え下さい。

「モデル海斗」のHPにも詳細が出ています。

<http://artmodel-hiro.com/>

モデル海斗



開催場所

Kirin

イベントスペース *Kirin*

〒556-0002

大阪府大阪市浪速区恵美須

東2丁目4-6

TEL: 06-6632-1155

通天閣のほど近く。

スパワールド前「ピリケン神社」
向かって左入ってすぐです。

